株式会社松南サービス

2023　年度　　環境経営レポート

（対象期間:　2023　年12月1日～　2024　年11月30日）

洗車には雨水を積極的に使用

エコアクション21
認証番号 0011693

SHONAN SERVICE

作成日：　2024年12月29日

目　　次

項　　目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11

平成28年
排出ガス規制に対応した
ディーゼルエンジンを搭載

毎日の運転業務の前には
「日常点検・作業開始前点検表」をもとに、
道路運送車両法に基づく点検項目を確認した後、
出庫します。できるだけ環境に負荷を掛けない状態で
走行できるよう気を配っています。

←パッカー車のタイヤ空気圧を確認しています。
空気圧が下がると燃費も下がります。

当社の事業活動が環境に与える影響を把握し、
その影響の適切な増減により、
汚染予防・環境保全に寄与できるよう努めます。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

株式会社　松南サービスは、廃棄物の収集運搬・リサイクル・リユース等の環境事業にかかわる製品とサービスをお客さまに提供し続ける企業として、地球環境保全と事業活動の両立を基本理念とし、地球環境への負荷を最小限にするための下記に示す継続的な取り組みを通じて、社会および将来の世代に対する貢献に努めます。

＜環境保全への行動指針＞

１．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

２．事業所や車両の省エネに努めます。

３．自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の再資源化に努めます。

４．適正な利用により水使用量の削減に努めます。

５．洗浄剤や殺菌剤など適正管理に努めます。

６．本指針は全従業員に周知させ、全従業員が環境保全に対する認識の向上を図り、
事業活動に反映できるよう啓発、教育します。

７．地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日： 2019年12月1日

代表取締役社長　　中野　博司

□組織の概要

更新日： 2024年11月30日

（1）名称及び代表者名
株式会社松南サービス
代表取締役社長　中野　博司

（2）所在地
本　　社　　大阪府大阪市生野区巽南2丁目11－19

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者		中野　博司	TEL：０６－４３０６－３２３２
担当者	企画総務部	中野　昌子	TEL：０６－４３０６－３２３２

（4）事業内容
一般廃棄物の収集運搬業（許可・委託）、産業廃棄物の収集運搬業、中古車販売業、遺品整理業

（5）事業の規模

法人設立	平成17年2月25日
資本金	3,000 万円
売上高	10,863 万円

産業廃棄物	1,338 万円
一般廃棄物（許可収集・定期）	4,986 万円
一般廃棄物（許可収集・臨時）	269 万円
一般廃棄物（委託収集）	4,033 万円
その他	237 万円

	本社
従業員	16　名
延べ床面積	299　㎡

■受託産業廃棄物の処理量

収集運搬量	323 t		
中間処理量	0 t	うち再資源化量	0 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	0 t	うち再資源化量	0 t

■受託一般廃棄物の処理量（許可収集）

収集運搬量	653 t

※他に受託一般廃棄物として大阪市家庭系一般廃棄物の委託収集があります。

車種	台数	備　　考
3tダンプ車	1 台	産業廃棄物
3.5tパッカー車	2 台	一般廃棄物（許可収集・定期）（うち1台は予備車）
3tパッカー車	1 台	一般廃棄物（許可収集・定期）
2tダンプ車	1 台	一般廃棄物（許可収集・臨時）
軽ダンプ車	1 台	一般廃棄物（許可収集・臨時）
2tパッカー車	3 台	一般廃棄物（委託収集）（うち1台は予備車）
軽ダンプ車	1 台	一般廃棄物（委託収集）
乗用車	3 台	営業車
合計	13 台	

主要設備

名称	台数	備考
なし	基	

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
本社(特別管理産業廃棄物)	65.4 ㎡	2.7 ㎥	廃油・廃酸・廃アルカリ
本社（産業廃棄物）	87.9 ㎡	28.3 ㎥	廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くず・動物性残渣・ゴムくず・金属くず

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　株式会社松南サービス
対象事業所：　本社

対象外：　－
活動：　一般廃棄物の収集運搬業（許可・委託）、産業廃棄物の収集運搬業、中古車販売業、遺品整理業

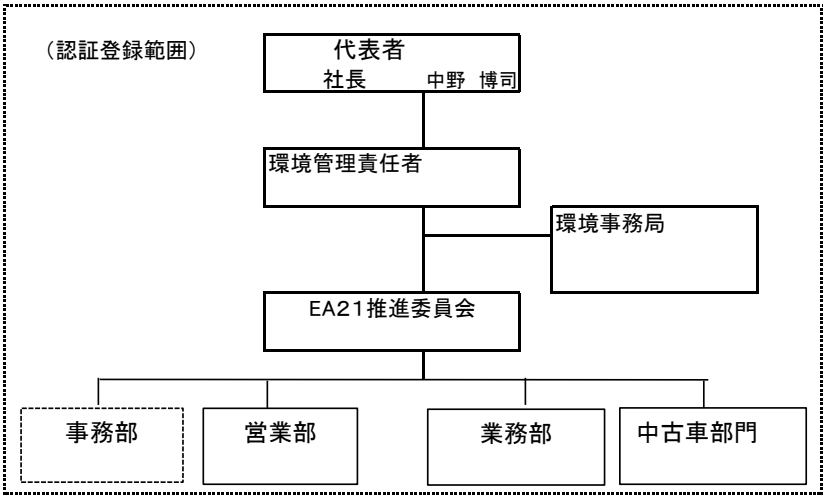
□事業の紹介

2017年に新社屋を竣工。その移転に伴い、受託した産廃を持ち込む中間処理業者を見直し、移動距離が短く効率的な運搬経路で車両の二酸化炭素排出量を抑えることを意識しています。今年度（2024年4月～）も、行政からの委託事業を3案件受託しています。就業者数と稼働車両数が増加していることから事業による環境負荷の総量は増加傾向にありますが、原単位あたりの環境負荷を下げられるよう運用面での取り組みを継続しています。一般廃棄物については旧来からの事業に加え、遺品整理等を含む一般廃棄物の臨時収集分野への取り組みを進めるため、対応する車両の増強を図っています。

月に1度はミーティングを開催し、研修をしたり、環境局からの安全運転・安全作業に関する連絡事項を伝えるなど、社員のレベルアップに努めています。これにより、業務品質の向上やコンプライアンスの順守につなげています。

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2024年11月30日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
EA21推進委員会	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備　　考
大阪市	第030-093号	令和6年4月1日	令和8年3月31日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	優良認定	廃棄物の種類												
						汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	がれき類
大阪府	第02700119631号	令和6年7月26日	令和13年7月25日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪市	第6610119631号	令和6年9月13日	令和13年7月3日	有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県	第02801119631号	令和6年9月27日	令和13年9月26日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奈良県	第02900119631号	令和6年9月14日	令和13年9月13日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京都府	第02601119631号	平成27年12月28日	令和11年12月27日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	優良認定	廃棄物の種類			
						汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ
大阪市	第6660119631号	令和3年11月1日	令和10年10月30日	有	○		○	○	○

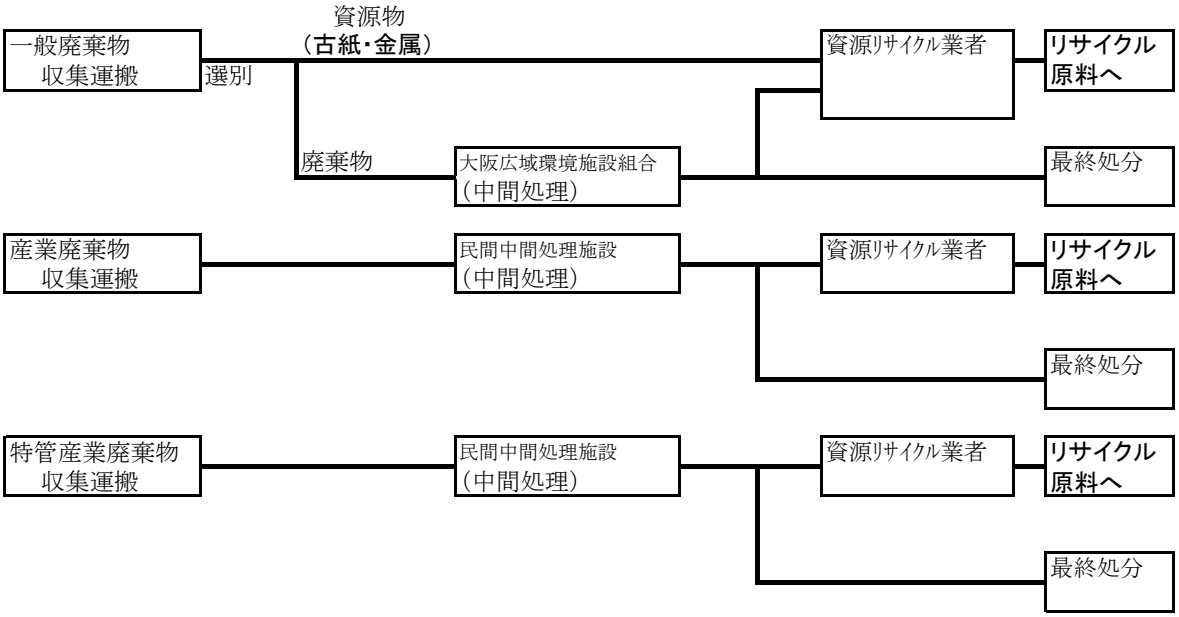
金属くず商

許可区域	許可番号	許可年月日
大阪市	第1973号	平成26年10月31日

古物商

許可区域	許可番号	許可年月日
大阪府 公安委員会	621091801916	平成23年8月23日

□廃棄物処理フロー



□処理料金

・処理料金については、引取り場所、品目等により異なりますので、当社までお問い合わせ下さい。

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	68,231	68,190	75,413
受託産廃収集運搬量	トン	309	279	323
受託産廃中間処理量	トン	0	0	0
受託産廃最終処分量	トン	0	0	0
受託一廃収集運搬量（許可収集）	トン	720	708	653
廃棄物排出量（自社）	kg	952	942	274
一般廃棄物排出量	kg	952	942	274
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0
水使用量	m^3	223	199	127

※二酸化炭素排出係数　　0.334　　kg-CO2/kWh　関西電力㈱2018年度　調整後排出係数
※二酸化炭素総排出量には、環境経営目標にはない都市ガスも含む。

□環境経営目標及びその実績

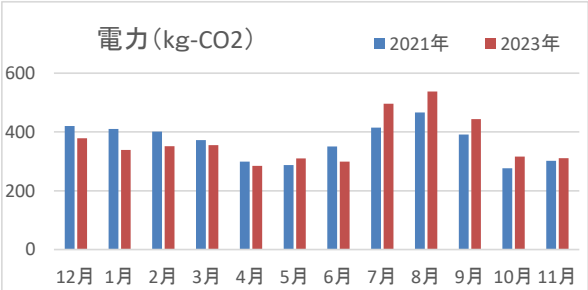
項　目 ＼ 年　度		基準値（基準年）	2023年（目標）	2023年（実績）	評価	2024年（目標）	2025年（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	4,391	4,303	4,423	×	4,259	4,215
	基準年度比	2021年	98%	101%		97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	63,567	62,296	70,825	×	61,660	61,660
	基準年度比	2021年	98%	111%		97%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	67,958	66,599	75,249	－	65,920	65,876
CO2排出量と燃費（収集車両）※注1	km/kg-CO2	1.86	1.88	2.87	○	1.90	1.92
	基準年度比	2021年	102%	154%		102%	103%
一般廃棄物の削減	kg	952	933	274	○	923	914
	基準年度比	2021年	98%	29%		97%	96%
水道水の削減	m^3	223	219	127	○	216	214
	基準年度比	2021年	98%	57%		97%	96%
溶剤使用量削減（あるいは適正管理）	kg	38.40	37.63	0.00	○	37.25	36.86
	基準年度比	2021年	98%	0%		97%	96%
環境に配慮した収集運搬	行動目標（次項による）						

※注1：数値が大きいほど燃費が良く、環境負荷が低い。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成　×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	・1年を通じて、感染症予防のための換気対策(CO2濃度700ppm以下)を継続した。 ・エアコンの入り切りは、全員が気にかけた。 ・エアコンの「快適エコ自動」機能を多用した。 ・今後も継続した取組みを行う。
・空調温度の適正化（冷房28℃　暖房22℃）	○	
・不要照明の消灯	○	
・パソコン、コピー機等のOA機器の省電力設定の実施	○	

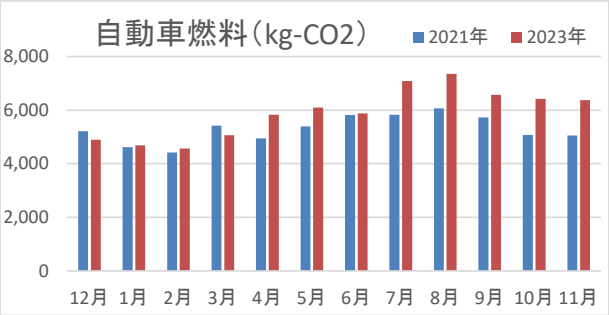


取組紹介欄

・店子の電力使用量を計測し（2023/5まで）、
　より正確な自社使用量の把握に努めています。
・トイレの照明を人感センサー付きへ交換

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2021年	420	410	401	372	299	287	350	415	466	392	276	302
2023年	378	339	351	355	285	310	299	496	537	444	317	311

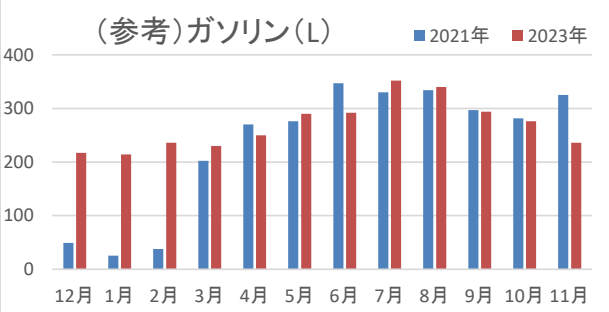
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	・基準年度である2021年度（2022/3研修開始）から2つ目の行政委託事業が稼働し始め、その時期からCO2排出量が多くなっている。 ・委託事業は有期委託契約であるため、新車は購入せず、中古車両（最新の燃費性能ではない）を購入した。 ・委託事業のトラックは2tクラスなど小さめ、予備車も所持し、車両数を増やす方向のためCO2排出量は増加の傾向にあると思われる。km/kg-CO2指標を使い、車両数に関係なく燃費に配慮したエコ運転をめざす。
・アイドリングストップ等のエコドライブの実	○	
・作業時間や待機時間、走行距離の短縮を考慮	○	
・ドライブレコーダーによる運転の監視	○	



取組紹介欄

・エコドライブに継続的に取り組んでいます。
・2022年3月より終日稼働する収集車両が4台から5台へと増加しました。

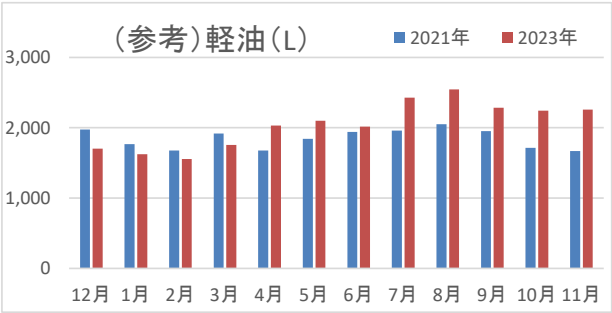
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2021年	5,210	4,622	4,418	5,418	4,950	5,392	5,814	5,824	6,065	5,724	5,074	5,056
2023年	4,895	4,689	4,565	5,067	5,825	6,091	5,879	7,083	7,357	6,575	6,426	6,374



取組紹介欄

・2022年4月から受託した行政からの委託事業に充てて車両がガソリン車であり、研修期間をスタートした2023年3月から増加しています。

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2021年	49	25	38	203	270	276	347	330	334	297	282	325
2023年	217	214	236	230	250	290	292	352	340	294	276	236



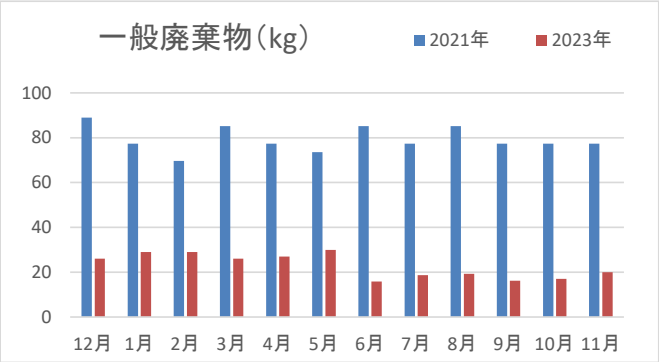
取組紹介欄

・高年式のパッカー車2台のDPF装置の不調により燃料消費量が増加しています。
（2023年2月～5月にエンジンの交換が完了。）

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2021年	1,975	1,769	1,678	1,918	1,676	1,842	1,942	1,960	2,051	1,952	1,713	1,667
2023年	1,702	1,625	1,557	1,757	2,033	2,100	2,016	2,429	2,546	2,284	2,242	2,259

← 2024年10月に、全国清掃事業連合会から、「2024年優良事業所表彰」をいただきました。

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・コピー紙は裏紙として社内で再利用する。裏紙使用ができないコピー紙と段ボールは業界団体のリサイクルボックスへ排出。 ・シュレッダーしたものも業界団体のリサイクルボックスへ排出。 ・今後も継続した取組みを行う。
・分別の徹底	○	
・段ボール・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
0	○	
0	○	

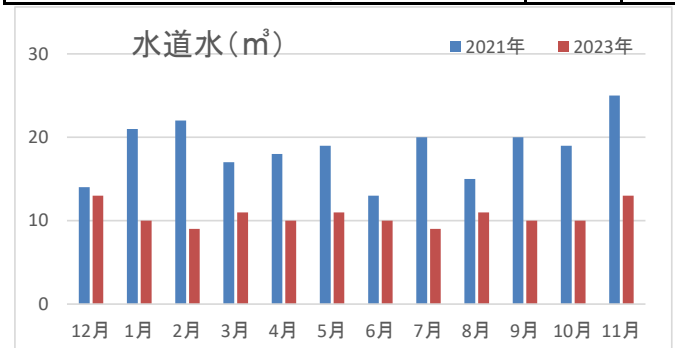


取組紹介欄

・資源ごみ（紙）の分別をさらに細かくできるよう分別ボックスを作り直し、確実に処理施設の資源回収BOXに持ち込んでいます。
・使用済封筒は、窓部分を切り取り、紙にプラ系のものが含まれないように配慮し分別しています。
・コーティングされた光沢のある紙をリサイクルに出さないよう気をつけています。

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2021年	89	77	70	85	77	74	85	77	85	77	77	77
2023年	26	29	29	26	27	30	16	19	19	16	17	20

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・洗車時に雨水利用を確実に行った。 ・雨水あり・無しの表示 ・今後も継続した取組みを行う。
・雨水の貯留タンクの設置による雨水の使用	○	
・洗車時の節水の励行	○	
・手洗い時・洗い物における節水の励行	○	



取組紹介欄

・洗車は雨水を使用することを徹底しています。
・少雨の時期は、雨水が足りず水道水を使用しています。
・『雨水あり』／『雨水無し』のリアルタイムの表示を設け、雨水を無駄なく使用する取り組みを始めました。

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2021年	14	21	22	17	18	19	13	20	15	20	19	25
2023年	13	10	9	11	10	11	10	9	11	10	10	13

溶剤使用量削減（あるいは適正管理）	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・洗車用洗剤の切り替え（ニューSSソープ）（2023年6月より使用） 成分：けい酸塩・脂肪酸ナトリウム PRTR物質に該当せず
・有害性物質（洗車時に界面活性剤入り洗剤使	○	
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・代替物質の検討	○	

取組紹介欄
一般家庭でも使用される台所用洗剤を選び、下水処理の環境が整っている条件下で使用する。

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・積み込み時に騒音を立てない	○	・消火器の使用方法をyoutubeで確認。 ・車両火災訓練を2024年11月に実施。 ・今後も継続した取組みを行う。
・積み忘れをしない	○	
・清潔な車両での収集	○	
・エコドライブの実施	○	

取組紹介欄
業務ミーティングでの定期的なフォローを行っています。
パッカー車の荷室が火災になった場合に消防署へ直接入庫するケースや、公園の横などに停車して消火器を使用した対処法などを確認した。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬業
自動車NOx･PM法	収集運搬車
フロン排出抑制法	業務用空調機(該当なし)
自動車リサイクル法	車両
家電リサイクル法	テレビ･エアコン･洗濯機･冷蔵庫･乾燥機
資源有効利用促進法	パソコン
改正道路交通法(アルコールチェック)	一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬業

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定:　（実地訓練)収集車の荷室火災の発生

■実施日：　2024年11月10日

■実施場所：松南サービス　第3会議室１Fヤード

■参加者：　横尾真一　安丸祥平　片山渉　村上勇輝　仲神晃子　菅野達男　中野昌子　杉浦竜一　茶谷勇気　川村健治　奥田徹　三谷年弘　久堀憲一

■実施内容：手順書の読み合わせ、内容の確認・運搬車両についてはルート上の消防署位置の確認・消火器位置の確認、消火器操作。

■評価：

手順書の変更の必要性　☐ あり　☑ なし

（座学）ルート上の消防署位置の確認、（実地）車載消火器位置の確認。パッカー車をダンプさせ、荷台の燃えている廃棄物を排出し、消火器（水消火器）で消火する。
（座学）産廃・特管産廃の流出事故、散乱の対応についても確認した。

■実施状況の様子

収集エリア上の消防署位置を確認

広い場所に停車し、荷台をダンプさせ、燃えて

緊急事態の想定:　同業者の事故事例をMTGで確認。意見の出し合い。

■実施日：　2023/12　2024/1・・毎月実施

■実施場所：松南サービス　会議室

■参加者：　横尾真一　安丸祥平　片山渉　村上勇輝　山本幸雄　仲神晃子　菅野達男　中野昌子　杉浦竜一　茶谷勇気　川村健治　奥田徹　三谷年弘　久堀憲一

■実施内容：
・大阪市環境局交通事故削減ワーキングチーム発行の「交通事故発生情報」を見ながら意見交換。

■評価：

手順書の変更の必要性　☐ あり　☑ なし

ドライバーの勤務時間帯に合わせて同内容を2回開催し、ドライバー全員が緊急事態の想定に取り組みます。大阪市環境局管内でも事故が絶えず起こっていて、社内での注意喚起はやみません。

■実施状況の様子

同業者の事故事例を→毎月のMTGで確認。

「自分たちにも起こりうる。」（事例ごとに大阪市環境局が個票を作成しておられます）

交通事故発生情報

令和6年度事故発生件数	54件	うち人身事故	12件	
事故発生日	令和6年12月9日（月）　午前 3時50分頃	天気	晴	
事故発生場所	鋳物工場プラットフォーム			
事故現場見取図		事故発生状況		
		ロータリー式パッカー車でピットにごみを投入した後、ドライバーは車両付近に立っていた助手へ声を掛けた上でテールゲートを閉めようとしたが、助手は声掛けに気づかず上半身をテールゲートに挟み込まれ、頭や顔に重傷を負った。		
損害内容	人身事故			

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2024年12月15日

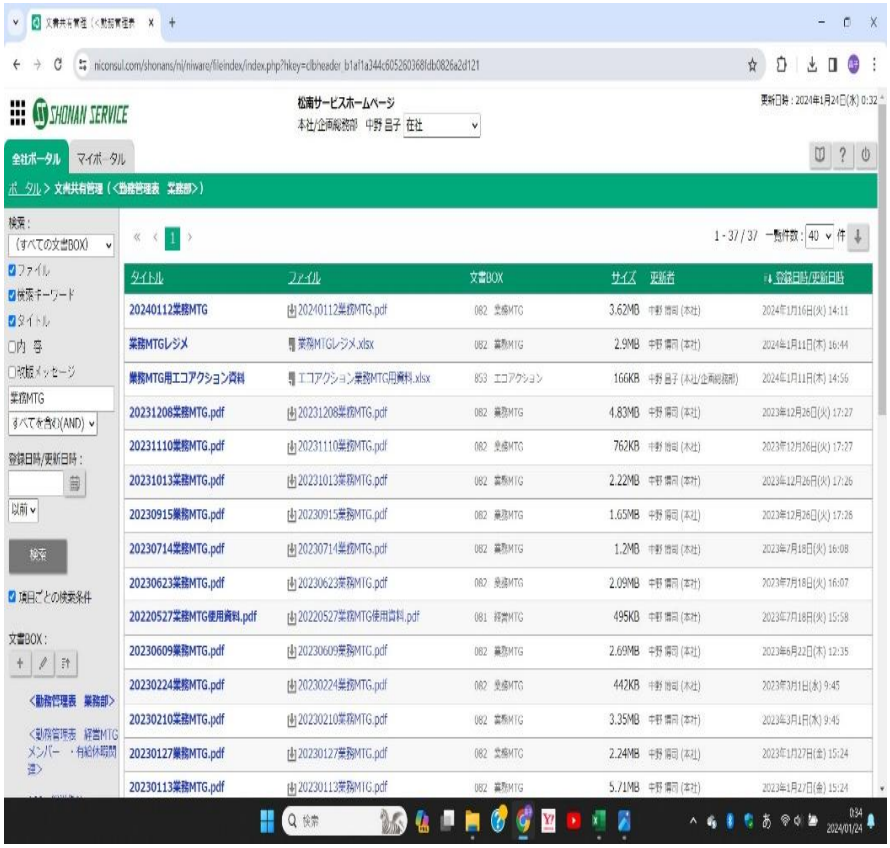
今年度は、行政からの委託業務の拡大や、収集運搬業務全般の勤務補完体制強化のため、収集現場担当者の増強や交替が必要となり、特に、教育・研修に経営資源を投入した年となりました。
中間管理層も対応力を付けてきており、組織全体として充実した体制となりつつある状況のもと、人材投資により一時的に減少した収益性を改善するための各施策に継続的に取り組んでいるところです。
事業拡大のフェーズにあり、事業活動量の増加に伴い環境負荷の絶対量が増加する傾向にありますが、事業の効率化をすすめ、原単位当たりの環境負荷の低減を目指します。

＜指示事項＞
1・環境実績の月次フォローの徹底と全社員による情報共有
2. 環境関連マニュアル記載の環境活動を全社員で継続実施する
3. ナレッジコラボ等のツールを活用した改善策の検討

環境経営方針	☑	変更なし	□ 変更あり	
環境経営目標・計画	☑	変更なし	□ 変更あり	実績を踏まえて見直す
実施体制	☑	変更なし	□ 変更あり	

□これまでの環境活動の紹介

定期収集のお客様からの排出物について、適正処理を目指して指導する回数を数えたところ、今年度は118回ありました。収集作業員、営業担当者、経理担当者が情報を共有し、業務品質の向上に尽力しています。
適正処理を進めるなかで、効率的な収集にもつながってきます。



グループウェアを使用した、業務MTG資料の蓄積。事務担当者、業務担当者を問わず、モバイルでも情報が確認できます。

雨水タンク　使用可
（水道水は　使用不可）
環境負荷低減のための「エコアクション 21」の取り組みの一環として、雨水の優先使用のルールを運用しています。ご協力をお願いします。
（タンク貯水量が減って水道水を使用する場合はパネルを裏返してください）
(株)松南サービス

雨水タンク　使用不可
（水道水は　使用可）
環境負荷低減のための「エコアクション 21」の取り組みの一環として、雨水の優先使用のルールを運用しています。ご協力をお願いします。
（タンク貯水量が回復し、雨水を使用する場合はパネルを裏返してください）
(株)松南サービス

雨水有り・雨水無しのリアルタイム表示

□編集後記

弊社は2014年12月よりエコアクションのガイドラインに基づき活動しています。
社員数、車両数、活動量とも拡大傾向が続いているので、なかなか完全には環境数値目標が達成できませんが、業を続けるうえで必須の設備である各車両に車両管理責任者を決め、月1回の本格的な車両点検を行い報告するしくみ、毎日の運行前点検を報告する仕組みなど、必要な研修の実施など、きちんと社内的に実績を積み重ねる活動ができました。
5S活動や顧客対応についても、普段はグループウェアで、月1回の会議時にも共有できています。